

基礎演習I

第2回

経済学とは？


- 方法論
 - 科学としての経済学
- 学問の対象
 - 経済だけでなく，人間が関わるあらゆる現象を分析対象とする。

科学としての経済学

- 経済学者は、自分たちが研究する諸問題に科学的な客観性を以て取り組もうと努力する。
- 科学的な客観性とは？



結論を導出する過程で主観を介在させない。

 説明の論理的正しさを目指す。

経済モデル

- 現実世界を抽象化することによって仮想的な経済モデルを構築する。



分析者が様々な仮定を置くことによって
抽象化していく



モデルの仮定や前提には
主観が内在する点に注意！

経済モデルの大前提

- 経済学における最も基本的仮定
 - 人はインセンティブに反応する。

☞ テキスト第1章

経済学の分析対象

- 人間が関わるあらゆる現象
 - 経済，法律，政治，犯罪，社会現象，交通渋滞，部落形成，歴史，結婚，文化，.....
- 経済学の特徴は分析対象ではなく分析手法に特徴がある。
 - 例. エレベーターの混雑を解消するには？
 - 例. 渋滞を解消するには？


エレベーターの混雑を解消するには？

- 工学的アプローチ
 - エレベーターの速度アップ.
 - エレベーターの運行プログラムの改善

エレベーターの混雑を解消するには？

- 心理学的アプローチ

- そもそも、待たされていると感じさせなければ良い。

 待合室の改善。

- 鏡の設置。

- セールスワゴンや、小物陳列など。

エレベーターの混雑を解消するには？

- 経済学的アプローチ

- 経済学は人々の幸せを第一に考える。

- ☞ 問題解決のための行動を強制しない。

- 人はインセンティブに反応する。

- ☞ 人々のインセンティブをコントロールすることによって自発的に行動させる。

エレベーターの混雑を解消するには？

- 経済学的アプローチ
 - エレベーターを用いるインセンティブは何か？
 - エスカレーターより便利.
 - 人により理由はどうあれ，エレベーターから得られる満足度（効用）の方が，エスカレーターから得られる満足度（効用）より，大きいことが原因.

エレベータの混雑を解消するには？

- 経済学的アプローチ

- エレベータから得られる便益を下げても良い。

- エレベータの利用を有料化する。

- ☞ 入場券を販売

- ☞ 非現実的！

- ☞ 代わりにエスカレーターから得られる便益を上げてやれば良い。

エレベータの混雑を解消するには？

- 経済学的アプローチ
 - エスカレータの便益を上げるには？
 - エスカレータの乗り口で割引クーポンやコーヒー無料券を配布する。
 - 👉 自発的に客を誘導。

エレベーターの混雑を解消するには？

- 経済学的アプローチ
 - もっと面白い解決法。
 - そもそもエレベーターが便利だから混雑する。
 - エレベーターをもっと遅く運行して、待ち時間を長くすれば良い。
 - しびれを効かせた客はエスカレーターに移動し、本来エレベーターが必要なベビーカー利用者や足の不自由な人が、エレベーターを使える。

エレベータの混雑を解消するには？

- 混雑のひどいエレベータを，更にゆっくり不便に運航するというのは，なかなか出来ない発想.
- しかし，解決策としては極めて理に叶っている.
- 経済学を用いると，通常気付かない様々な発想を論理的に導き出すことが出来る.

高速道路の渋滞を緩和するには？

- 工学的, 心理学的アプローチ
 - 道路のカーブを見直す.
 - 道路の幅や, 植木の間隔, ガードレール等の見直し.
 - 上り坂の軽減.
 - 自動運転装置の開発.

高速道路の渋滞を緩和するには？

- 経済学的アプローチ
 - 人々のインセンティブをコントロール.
 - 👉 ピークロードプライシング.
 - 混雑時に料金割増し or 空いている時間帯の割引.

経済学的アプローチの基本

- 人々のインセンティブをコントロールすることによって問題解決方向に人々を自発的に行動させる。
- 人々の満足度（効用）がよりよくなるように、制度設計する。
- 願わくば、社会全体の満足度（社会厚生）が改善するように制度設計する。